

関東大震災から100年 今、私たちにできること

# 9月1日(金)は、富士市総合防災訓練

大正12年(1923年)に発生した関東大震災を教訓として、9月1日は「防災の日」、8月30日(9月5日は「防災週間」と定められています。

今年の9月1日は、南海トラフ地震が発生したことを想定し、市内全域で防災訓練を実施します。災害の状況をイメージし、何度もシミュレーションしながら自宅などの防災対策も進めましょう。

問合せ／防災危機管理課

☎(55)2715 FAX(51)2040

✉ bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp



## ☑Point

- ☑テレビ・ラジオ・携帯電話などで緊急地震速報を確認する
- ☑実際に机の下など危険を避けられる場所に行って、頭や身を守る  
※強い揺れがあると、ガスは自動で止まります。無理をしてガスコンロの火を消しに行く必要はありません。

## ☑Point

- ☑倒れそうな家具や家電がないか確認する  
※ふだんから身を守る行動がとれないほどの強い揺れをイメージし、家の中の危ないところなどを改善する(耐震補強について詳しくは4ページを確認してください)。

## ☑Point

- ☑津波避難対象区域や急傾斜地(がけ)の近くに住んでいる人は、避難目標地点に避難する
- ☑停電を想定し、通電火災に備え、ブレーカーを落とす
- ☑家族の安否確認(けががないかなどを確認)を行う  
※防災週間(8月30日~9月5日)中は、被災後の安否確認を行う「[災害伝言ダイヤル\(☎171\)](#)」や、インターネットを利用した「[災害用伝言板\(web171\)](#)」の体験利用ができます。

## ☑Point

## 訓練の流れ

9/1 (金)

### 8:29 緊急地震速報



- ✓「訓練、地震です。訓練、地震です。強い揺れに警戒してください(繰り返し)」

### 8:30 地震発生

- ✓震源が富士市に近い場合、緊急地震速報が間に合わないこともあります。次の取組を通して、地震に備えましょう。



- ✓「訓練、地震発生(繰り返し)<サイレン>」

### 8:33 大津波警報発表 津波避難対象区域に避難指示を発令



- ✓「<サイレン>訓練、大津波警報が発表されました。海岸付近の方や津波避難対象区域の方は、高台に避難せよ(繰り返し)」

- ✓「訓練広報。ただ今の地震は震度6強でした。火の元を確認し、火災の発生に注意してください。また、今後の情報に注意してください。こちらは広報ふじです」

### 8:33 から

- ✓☑組(班)単位で安否確認を行い、町内会・区の集合場所や本部に報告する(詳しくは3ページをご覧ください)
- ✓☑町内会・区の自主防災活動(防災訓練)に参加する  
※9月1日以外に実施する町内会・区もあります。  
※訓練の内容は町内会・区によって違います。  
※防災訓練の同報無線は、災害のときと同じ順番で放送します。

## 私の家の安全対策

大きな地震の後でも、住み慣れた自宅で生活するために、対策をしておきましょう。

### 家具類の転倒防止

今までに起きた地震では、家具の転倒や落下、ガラスの破損などで多くの人がけがをし、命を落としました。災害が起きたときをイメージして、自宅の危険な場所の対策をしましょう。

例えば…こんなところをチェック！

- リビングやキッチンの家具を固定しているか
- 布団やベッドの近くに大きな家具を置いていないか
- 窓ガラスが飛び散らないように対策できているか

### 自分で固定できない人は

富士市では、高齢者や障害者などの世帯を対象に「家具固定推進事業」を実施しています。

防災危機管理課または各地区まちづくりセンターで申込みができます。



▲詳しくはこちら

### 非常用備蓄品の準備

水・食料、トイレは7日分以上の備蓄をお願いします。

#### 一人分の目安(7日分)

飲料水



1日3リットル  
7日で21リットル

食料



1日3食  
7日で21食

携帯トイレ

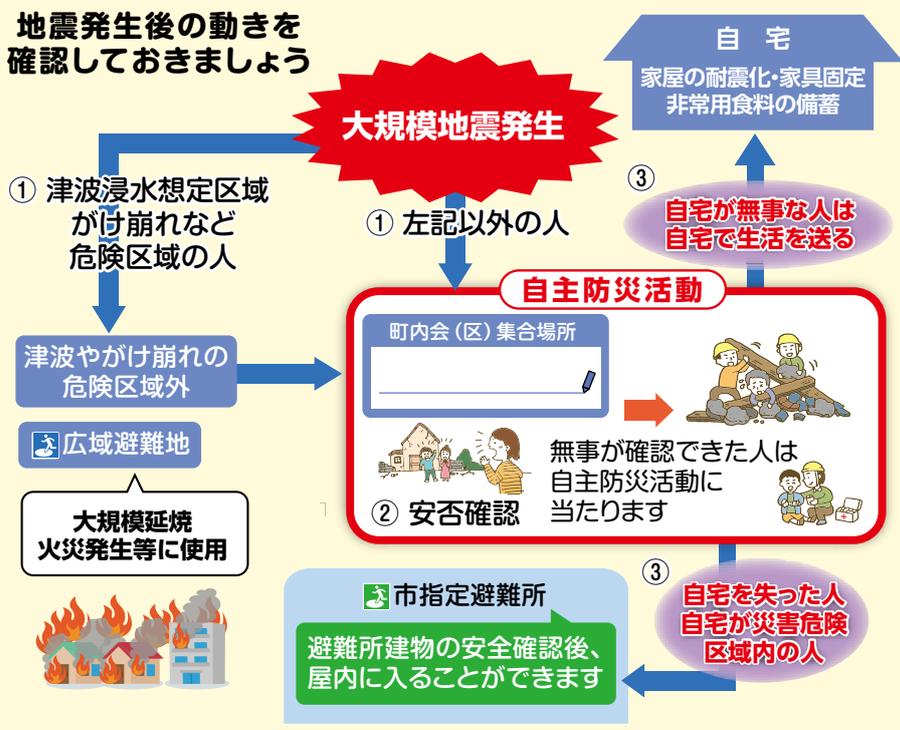
1日5回分 7日で35回分

家族の人数に応じて、必要数を確保しましょう。

### ローリングストック法(回転備蓄)で！

日常使う食料品を少し多めに買い置きして、消費した分だけ補充していく方法。古いものから先に使うように収納しておく、うまく循環できます。

地震発生後の動きを確認しておきましょう



## 安否確認の方法を再確認しましょう！

様々な自主防災活動の中で最初にするべきことが、住民の「安否確認」です。すぐに安否確認できるよう、防災訓練のときに方法を確認しておきましょう。

### 1 「無事な人」が無事を報告

安否確認の目的は、けが人などの「対応が必要な人」をはっきりさせることです。「無事な人」の報告が集まることで、対応の必要な人が分かります。

※「報告がない＝対応が必要」と考えます。

### 2 自分から報告に行く

無事かどうかは町内会・区の役員などに聞かれるまで待つのではなく、自分から報告します。これにより、町内会・区の全体の情報がすぐに集まり、応急対策に早く取りかかることができます。報告先や方法を前もって確認しておきましょう。



### 3 事前に安否確認シートを作成しておく

報告するときは、家族構成とその安否や、住宅の被害状況などを知らせます。このとき、多くの情報が集まるため、災害が起こる前に世帯構成をまとめた名簿(安否確認シート)を作っておくことで、災害のときに素早い確認と情報の整理ができます。

安否確認シートについて詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください▶



◀内閣府にて、今後の防災対策に向けて、皆さんの声を反映させるため、避難意識等に関する調査を実施しています。皆様のご協力をお願いします。